

お お な み
お お な み
84号

ウェーブ通信 (no.84)

2018年 04月号

Wave
NPO 法人
コミュニティ・
ネットワーク・ウェーブ



画=嶋原美紀さん「クリスマスローズ」

総会のご案内

理事長 佐光 正子

日頃より NPO 法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブの活動をご支援いただき、心より感謝申し上げます。平成 30 年度の総会を下記のとおり開催いたしますので、正会員の方はご出席くださいますようお願いいたします。正会員でない方もご関心のある方はオブザーバー参加できますので、どうぞ気軽にお立ち寄りください。

NPO 法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ 平成 29 年度総会

日時：平成 30 年 6 月 23 日（土） 13:30～15:00

場所：世田谷区弦巻 2-39-11 ウェーブ分室

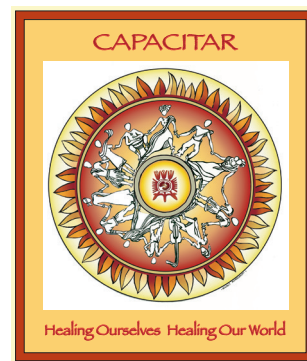
ウェーブは 1994 年に 3 人の仲間で立ち上げた小さな団体です。気がついてみると 24 年、四半世紀が過ぎていることになります。

月 1 回の食事会からスタートし、だんだん活動も増え、2004 年には NPO 法人格も取得できました。地域の団体と協力して小泉公園でお祭りを開いたり、区からの委託事業を受けたりできるようになってきて、ずいぶん成長したものです。

しかし、中心になって活動を支えてきたメンバーが一様に高齢化してきていることも現実です。今後の活動をどうしていくか真剣に考える時期に来ています。総会や理事会で検討していかなければならないテーマです。

どうぞ皆様、お時間があれば今回の総会に顔を出して、ぜひご意見をお聞かせください

「こころ」と「からだ」を 元気にするキャパシター



4月は季節の変わり目。桜吹雪もあつという間で、もう葉桜ですね。日々、ストレスを抱え、疲れ切って、何もしたくなるときもあるのではないのでしょうか。心に痛みを抱えている方、人との関係に苦しさを感じている方、対人支援に携わっている方にもおすすめの「キャパシター」をご紹介します。

キャパシターの手法は世界44か国で使われ、特に医療設備の整っていない紛争地、被災地での緊急時や貧困、暴力の問題などが深刻化している地域で、いつでも、どこでも、だれでもできる方法として考えられました。

太極拳のような動きで体のエネルギーを調える方法、指を握ることで辛い感情を解放していく指握り瞑想、顔や体のツボをタッピングして感情を解放していく方法、マイナスな状況から自身をまもるための方法などがあります。

毎日、歯を磨くように生活の一部としてそのツールを用い、まず十分に自分を休め、癒し、心身の「痛み」を「力」に変えていきましょう。

ウェブでは、4年前から創設者のパトリアさんの来日に合わせ、毎年区内でワークショップを開いています。今年は、レジリエンス、キャパシタージャパンとの共催となりました。せたがや防災NPOアクションのイベントや子育てひろばでの協働プログラムにもキャパシターで参加しています。

また、ワークショップに参加した方を中心に、女性ならどなたでも参加できる練習会を定期的の実施しています。トラウマやストレス軽減に効果があります。お気軽にご参加ください。

(佐光正子)

日時：5/26(土)、6/9(土)、7/14(土)、8/11(土) 13:30～16:00

場所：グリーンサポートせたがや サポコハウス

(世田谷区太子堂 5-24-20 201号室)

参加費：500円

申込先：wave_setagaya@yahoo.co.jp

二度目のベネチア (1)

成田から北イタリアのミラノへ。透き通るような清々しい初冬の冷気漂う広大なロンバルディア平原を、バスは一路、南東方向のアドリア海側へと走る。

途中ベルガモ、マントヴァにも宿泊して、エミリア・ロマーニャ州の文化遺産の都市ラベンナに到着。

ここは、402年にローマ帝国が東西に分裂した後、北方からの異民族（ゴート人）の侵略に対して、西ローマ帝国の皇帝がポー川の流域に都を移したのが始まり。540年には、コンスタンチノーブル（現トルコイスタンブール）に都を定めていたビザンチン帝国（東ローマ帝国）の手でゴート人が追放され、ここにビザンチン文化が開花した。その一つの特色として、モザイク美術が展開されることになる。

なかでも、サン・ヴィッターレ聖堂のキリスト像や聖書の物語、ビザンチン帝国の皇帝や皇妃のモザイク装飾は圧巻である。モザイク画は色とりどりの陶板をさまざまな小さな形に切って、それらをまるでジグソーパズルのように組み合わせ、一つの絵にしていくという根気のいる作業である。ラベンナにはモザイク職人や修復士を養成する学校もあり、文化遺産の保護に努めている。

この華麗なビザンチン文化に出会えるラベンナに2泊し、いよいよアドリア海の女王とも云われるベネチアへ。

街の中心にあるサン・マルコ広場のすぐそばのホテルに5連泊したので、ベネチアの旅の楽しみを比較的ゆったりと味わうことができた。

まずはサンタ・マリア・デッラ・サルデーテ教会で、夕方5時から催されたクリスマス・パイプオルガンコンサート。

サンタ・マリア・デッラ・サルデーテ教会（右の建物）



ベネチアのサンマルコ湾に面したベネチアン・バロック様式の白い大理石の教会は、丸い大きなクーポラがある八角形の建物で、あたかも水に浮かんでいるような壮大で美しい姿はベネチアの象徴といえる。

中世に猛威をふるったペストの終息を祈念して、聖母マリアに捧げるため、1630年より建設が始められたと云われている。教会の高い天井や壁画にはティツィアーノやティントレットをはじめ、ベネチア派の天才たちの絵が飾られていて、厳粛な宗教の空間であり、豪華な芸術の間でもある。

この教会正面祭壇の高い天井部分にあるパイプオルガンが演奏される……。曲目はヴィヴァルディの四季“冬”第1・2・3楽章、バッハのマニフィカート、そしてロシア出身のソプラノ歌手によるシューベルト、グノーなどのアヴェ・マリア。

その美しい音色が天上の音楽として地上の我々に降り注がれ、荘厳かつ敬虔な気持ちへと導いてくれる。パイプオルガンの低音の響きが、大理石の床を這うような重厚さで迫ってくる。ふと、私の好きな西行の「願わくは花の下にて春死なむその如月の望月のころ」が浮かんで目頭が熱くなった。(花をパイプオルガンに置き換えて)。

サルデーテ教会でしか味わえない感動的なパイプオルガン演奏。すばらしい夕べでした。




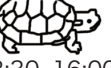





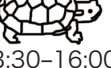


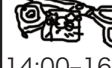


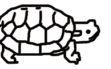






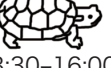




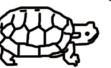



(伊藤稔子)

続きは次号で。

ウェーブカレンダー

ウェーブ分室
で開催

駒沢中学校「支えあ
いルーム」で開催

	日	月	火	水	木	金	土
第1週		 10:15-11:45 歌声サロン		 10:00-12:00 健康体操		 10:00-12:00 俳句を楽しむ	
		 13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 14:00-16:00 編み物・書道	 14:00-16:00 手芸		
第2週		 10:15-11:45 どんぐり		 10:00-12:00 健康体操			
		 13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 14:00-16:00 編み物・書道	 14:00-16:00 手芸		
第3週				 10:00-12:00 健康体操		 10:00-12:00 初心者麻雀	
		 13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 14:00-16:00 編み物・書道	 14:00-16:00 手芸		
第4週		 10:15-11:45 どんぐり		 10:00-12:00 健康体操/吹き矢		 10:30-12:00 書道	
		 13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 14:00-16:00 編み物・書道	 14:00-16:00 手芸		
第5週				 10:00-12:00 健康体操			
		 13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 14:00-16:00 編み物・書道	 14:00-16:00 手芸		

花絵の会

毎月第2・4月曜日の13:30
～15:30に駒沢中学校の「支
えあいルーム」で開催します。

- 5月 08日・22日
- 6月 12日・26日
- 7月 09日・23日



カレー
350円

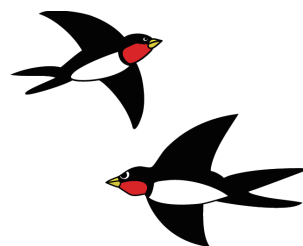


お楽しみ
定食
400円

夕食会

毎週火・木曜日の
17:00～18:00に開催。
18:00以降に食べたい方は、
17:00までにお電話を！

介護保険が改正 されました



平成30年4月、3年に一度の介護報酬の見直しが施行されました。今回は医療報酬も改正になり、医療と介護の一体改革が目指された、初のダブル改正です。団塊の世代が75歳以上になる2025年に向けての改正でもあります。

今までも、長期入院を減らす、必要以上の病院に行かなくてすむようになり、かかりつけ医を持つ、治療が必要なくなった人は在宅に戻り、治る見込みがなければ自宅で亡くなる選択肢を増やす、という基本的な方向がありました。

今回は、医療と介護が連携するところに報酬の改定があるのが特徴です。ケアマネジャーが、病院と在宅をつなぐ連携の「要」に位置づけられるようになったと言えると思います。

先日、93歳の利用者が脳梗塞で倒れ、入院。脳の半分が壊死してしまい、話す、食べる、歩くなどは不可能と診断されました。ただ息をしているだけの状態ですが、医師から延命方法を伝えられ、家族は「このまま何もしないのはかわいそう。できる限りのことをしたい。」と経管栄養を選びました。

しかし、介護者は90歳の妹、とても在宅では介護できません。結局、急性期の病院から介護型の病院への転院が決まりました。

以前は「自然のままに」と言っていた姉妹でしたが、究極の選択に迫られたとき、介護者となった妹さんは一日でも長く生きてほしいと願いました。

今回の改正では、こうした事例のときもチームで話し合います。「人生の最終段階における医療」をどうするか、「最後の医療を自己選択・自己決定しなければならない」ということを最優先に、ケアマネジャーやヘルパーもチームの一員として関わることになります。

私も最後の自己選択・自己決定をして、また家族からも聞き取り、伝えあっておかなければと思いました。

(M.M)

永山則夫

封印された鑑定記録

堀川恵子 = 著 講談社文庫 2017年4月



少年は母の愛が欲しかっただけ

永山則夫（当時19歳）は、昭和43（1968）年10月～11月にかけて4人が犠牲となった“連続射殺魔”事件の犯人。最高裁で死刑判決が確定、平成9（1997）年8月1日に処刑。48歳。

この裁判には、石川義博医師（八王子医療刑務所で精神障害を持つ受刑者の治療に当たっていた。当時38歳）による「精神鑑定書」（第2次。昭和49年8月完成）が提出されていた。

石川医師はロンドンに留学して精神医学を学んだ。永山則夫の精神鑑定のための面接問診は、278日間をかけてカウンセリングの手法で行われた。その面接対話は、録音テープ49本（100時間）に記録されていた。

この鑑定書の分析は画期的で、当時の裁判の資料としては、異例のものであった。4人を射殺した永山の「犯行心理」について、およそ次のように診断している。

- ・ 出生後、父の放蕩による家計の逼迫、母の行商による育児放棄、荒れた家庭などに対する不満が鬱積した兄たちからの絶え間ない暴力、慢性的空腹、冬の北海道の寒さなどなどに起因するPTSD（心的外傷後ストレス障害）を発症。
- ・ それらによって、人格発達や性格形成の歪み、抑うつ症状、夜尿症、自殺願望を来す。そして、逃避のために繰り返される家出や長期



不登校などの悪循環。高卒後、就職してからの度重なる転職、非行などなど。

- ・ 家族や社会からすべて見捨てられ、絶望的窮地に追い込まれて悩み、周囲への恨みや怒りが敵視へと変化し、思春期の本人には統御できなくなるほどの衝動となった。(要点のみ)

●-----●
獄中の28年間、永山は読書によって猛勉強をし、ベストセラーとなる手記をまとめ出版。結婚もし、何篇か小説も出版している。本の印税は遺族に贈り続けた。

幼いとき、母に代わって面倒を見てくれた長姉がいる。唯一、暖かい思い出を与えてくれたその長姉と文通を続け、お互いの健康などを心配し合っている。年老いた母が老人ホームに入り、口もきけない状態だと知ると、カタカナで手紙を送っている。

「コンニチハ！ オフクロサン。ソノゴドウシテイマスカ。ダイブヤセテイルコトヲキイテイマス。ゲンキニナッテアイニキテクダサイ。マツテイマス。ガンバッテクダサイ！ オカラダタイセツニ！ オフクロサンへ。ノリオヨリ。」

永山が「母親は俺を3度捨てた」と話したこの母もまた、少女時代に親に捨てられて、樺太、シベリアで辛酸な生活を経験している。

石川医師の問いに、その母は語っている。「則夫は、とにかく甘えなかったんだの、おら、分かってたけどできんかった・・・」

(ボランティア・中山信孝)

ウェーブ
俳句の会

水車小屋流れに浮かぶ花筏

上杉 重子

春愁に無限なものをさぐるかな

柿田 英夫

生きること一日の仕事春菜買う

土井 きみ

新学期揺れる赤黒ランドセル

横溝 幸子

よもぎもち作る手のひら子らを呼ぶ

中田 フミ子

花片はなびらを挿頭かざしに巡る古都の旅

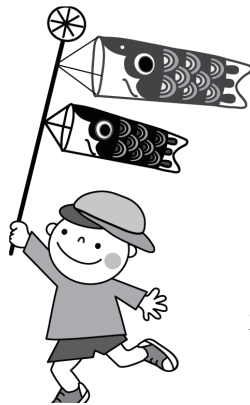
山本 欣子

紅椿ひとひら露地に昼の闇

中島 喜久子



ウェーブ
俳句



横溝 幸子

三寒四温マニュアルどおり季は巡る

池の面に春の青空紅き鯉

園児らの手に鯉幟風に舞ふ

●ウェブ通信からのお知らせ

小野殖子さんの「身体とのつきあい方」シリーズは終了します。楽しみにしていた方もいらっしゃるのでは、残念です。小野さんは昨年末に体調を崩して入院されていたのですが、お元気になられました。しかし、高齢ということでおひとりでの生活を心配された弟さんが、実家の近くでホームを探して入居され、仙台に行かれました。きっと、たくさんの友人や知り合いと久しぶりにお会いでき、お元気で暮らしていらっしゃると思います。

ウェブの会員になりませんか (会員登録のお願い)

■正会員：年会費3,000円

ウェブのサービスを利用したい方や、
ウェブの活動をスタッフと一緒に支えてくださる方

■賛助会員：年会費5,000円

時間や労働力の提供はできないけれど、資金面で支えてくださる方

■寄付：金額自由 (随時受付)

会員にはならないけれど、応援したいと思ってくださる方

振込先はこちらです

郵便振込：00170-9-401564

[名義] コミュニティ・ネットワーク・ウェブ

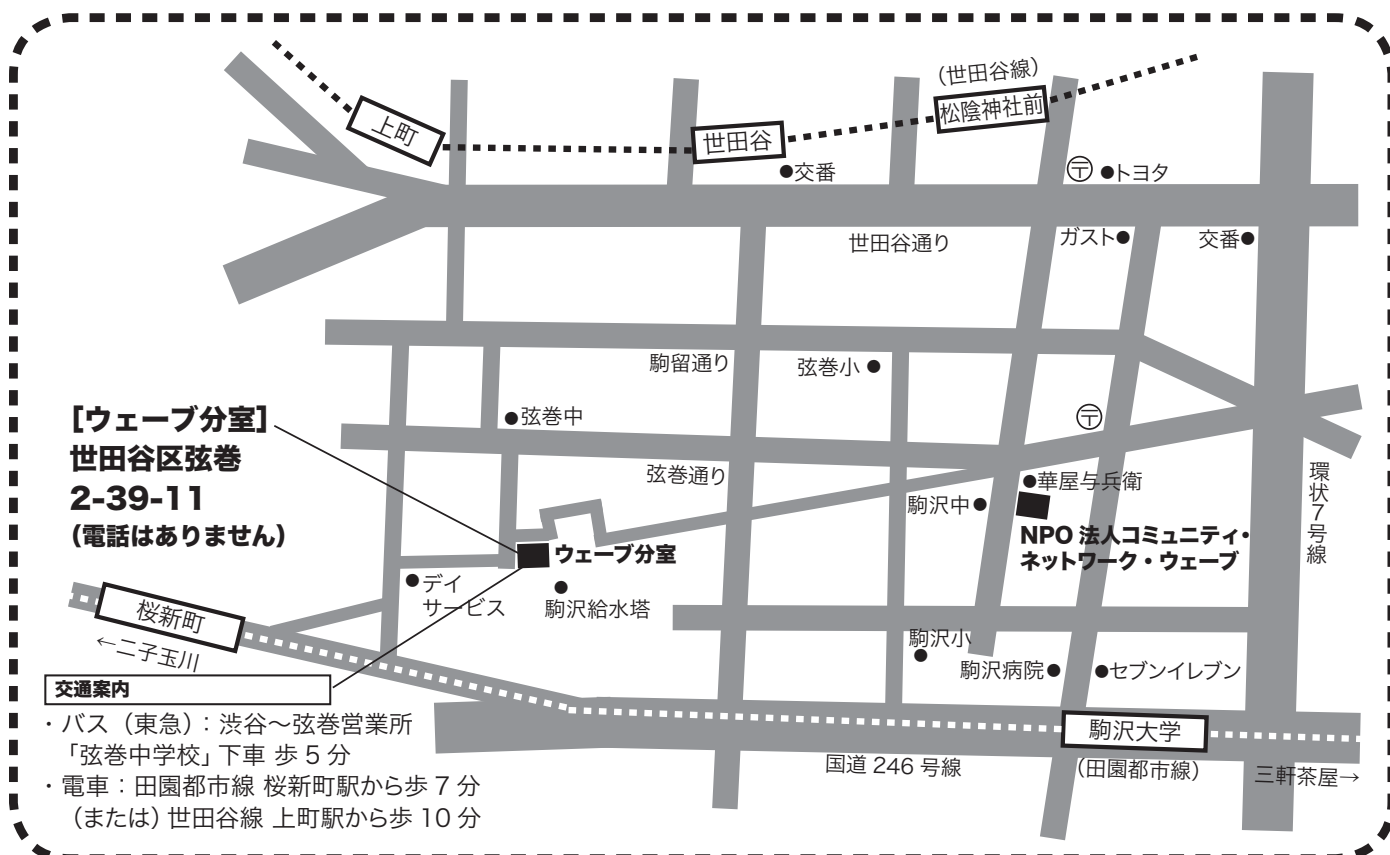
銀行振込：みずほ銀行 駒沢支店 (普)2025583

[名義] 特定非営利活動法人コミュニティ・ネットワーク・ウェブ

ウェブ通信「おおなみこなみ」は、コミュニティ・ネットワーク・ウェブ (CNW) の活動を多くの方に知っていただくために、年4回発行しています。ボランティアさんや地域の方、ウェブを利用されている方などから記事をいただき、絵の好きな方から表紙やイラストを提供いただいています。ウェブは「地域」を見つめながら活動しています。地域のいろいろな声の発表の場として、みなさんに利用していただきたいと思います。

NPO法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブのご紹介

◎ NPO法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ（CNW）は、障害のある人もない人も、高齢者も子どもも若者も、すべての人が家庭や地域の中で普通に日常生活を送り、支えあって暮らす社会（ノーマライゼーション）の実現をめざして、1994年に設立されました。高齢者・障害者の支援をはじめ、差別や偏見による人権の問題、家庭内での暴力の問題、環境保護に関わるリサイクルなど、さまざまな問題に取り組み、その解決に向けて努力を重ねています。不安の多い世の中において、心のよりどころを求めている多くの人たちのオアシスになれることを願って活動しています。



[ウェーブ分室]
世田谷区弦巻
2-39-11
(電話はありません)

交通案内

- ・バス（東急）：渋谷～弦巻営業所「弦巻中学校」下車 歩5分
- ・電車：田園都市線 桜新町駅から歩7分（または）世田谷線 上町駅から歩10分

だれでもサロン道草

tel:03-5430-7780
(火・水・木 13:00～18:00)
fax:03-5430-7780
(いつでも可)

介護事務所

tel:03-5430-7781
(9:00～19:00)
fax:03-5430-7771
(いつでも可)

交通案内

- バス（東急）：渋谷～弦巻営業所「駒沢中学校」下車すぐ
- 電車：田園都市線 駒沢大学駅から歩7分（または）世田谷線 松陰神社前駅から歩9分

ウェーブ通信「おおなみこなみ」第84号

発行日：2018年4月15日

発行所：NPO法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ

154-0012 世田谷区駒沢2-43-9 駒沢サンハイム106

メール wave@ngo-npo.org ホームページ <http://www.ngo-npo.org/wave/>

編集協力 & デザイン：宮本幹江（時遊編集舎）